

2014年度MSWのスキルアップを目指す実践セミナー 2014.10.12

ミニレクチャー

ソーシャルワークにおける意思決定支援
～ アセスメントの重要性 ～

静岡県立静岡がんセンター
福地智巴

診療経過と意志決定

Shizuoka Cancer Center

診断期 → 治療期 → 慢性期 → 終末期 → 死別後

受診 検査・診断 病名告知 入院 手術 放射線治療 化学療法 など 退院 外来通院 治療 再発 再発治療 終末期 死亡

がんの治療

不安・心配・安心・期待・絶望 様々な感情が循環

意思決定の場面は様々 ⇒ 治療方針の決定や療養場の選択だけではない

『聴く』ことから始まる支援

聴き 繋ぐ

思っていること、感じていること、困難なこと、望んでいること、必要と思うこと、持っている力 etc

相談者自身に、誰かに、機関に、地域に、制度に、サービスに etc

相談者の『...』に橋をかける (例; 思い, 気がかり, 希望 など) 内 (相談者自身) に繋ぐ (知・感情・行動・力) → 気づきへの支援 外 (環境・社会/資源) に繋ぐ → ソーシャルサポート獲得への支援

相談支援とは

相談

的確な対象者理解
聴き ⇒ 相談者自身に繋ぎ ⇒ リアルニーズの共有

資源のアセスメント & マッチング

情報提供 (+ 情緒的サポート)
内容、量、伝え方への配慮

専門家・機関に繋ぐ (トリアージ機能)
コンサルテーションの基準 繋ぎ方への配慮

相談者の全体性(存在)を理解しようとするやり取りの中に、つまり、SWの基盤となる全人的理解(身体・社会・心理・実存)を深めようとする対話の中に、個別性の高い「人生」「いのち」が顧られる。

情報提供やトリアージが目的ではなく、相談(プロセス)そのものが『支援』

対象者理解 (全人的苦痛への理解)

罹患前から営まれてきた 個別の生活 痛み、だるさ、食欲低下、後遺症・副作用のつらさ等 個別の生活課題 個人の課題、家族の課題

身体的苦痛 精神的苦痛 社会的苦痛 実存的苦痛

眠れない・気持ちが落ち込む、意欲や意欲の低下等

仕事や家事、主の悩み 専ら知人の人間関係等

どうして私なの? 生きる意味が分からない等

患者・家族の立ち位置からみる『環境』

Shizuoka Cancer Center

社会的・文化的・経済的・政治的構造

近所の方 職場の仲間 学校の友達 等

自然発生的なもの

生活環境

各相談機関 医療スタッフ 公的機関 等

家族 友人・知人 趣味仲間 等

患者同士 自助グループ

社会制度化されたもの

意図的に創られたもの

患者・家族の問題解決に向けて

Shizuoka
Cancer Center

